

防災講座 受講者が20,000人に到達！ 豊田市立藤岡南中学校で防災講座を行いました

令和元年から防災教育支援として取り組んできた防災講座を受講した児童・生徒・学生が、延べ20,000人に到達しました。289校目での到達です。

令和8年7月6日（月）、豊田市立藤岡南中学校で2年生87名に防災講座を行いました。

講座では、この地域でも甚大な被害のあった昭和47年7月豪雨、伊勢湾台風、東海（恵南）豪雨などの過去の水害や線状降水帯、新たな防災気象情報などについて学習しました。藤岡地区には昭和47年7月豪雨を後世に伝える「殉難の碑」が建立されています。

また、新技術を活用し、VRによる浸水疑似体験や伊勢湾台風AI語り部との対話体験、水防災AIカードクイズを行いました。生徒からは「VRの映像がリアルで浸水の怖さがわかった」「伊勢湾台風の被害が思っていたよりも大きくて驚いた」などの感想があり、体験を通じて水害の怖さを実感していただけた様子でした。

生徒たちは、総合的な学習の時間で防災について学習しており、今後、地域で発表する機会が予定されています。

今回の講座が、生徒たちの防災意識向上に繋がり、将来「守られる人から守る人」になって頂けることを期待しています。

